

パブリックコメントにおける「寝屋川市障害福祉計画（第2期計画）（素案）」に対するご意見のあらましと市の考え方

| 頁 | 項 目 | パブリックコメントにおけるご意見のあらまし | ご意見に対する市の考え方 |
|----|-----------------------------------|--|---|
| 14 | ⑥その他の事業 | <ul style="list-style-type: none"> 社会参加促進事業として、知的障害者が定期的に参加できるスポーツプログラムなども必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 余暇活動への支援を充実するよう、生涯スポーツやレクリエーション等に障害のある人が参加しやすくするための条件整備などを推進していきます。 |
| 18 | ②社会的入院の状況にあって、地域生活への移行をすすめる人 | <ul style="list-style-type: none"> 府の推計値から目標が設定されているが、実態把握を積極的に行い、実態に基づく目標設定や計画作成が必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> 計画策定にかかる国・府の指針に基づき、府の設定をふまえて目標を設定していますが、計画推進においては地域自立支援協議会等を通じて実態を把握するとともに、関係機関等と連携しながら効果的な支援を行っていきます。 |
| 22 | ②部会、ワーキング、プロジェクトチームの設置の推進 | <ul style="list-style-type: none"> この計画では地域自立支援協議会の役割が重要とされており、課題となっていたネットワークづくりに前向きに取り組むことはすばらしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 重点的に取り組む事項として推進していきます。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> 当事者の体験を活かしたピア活動のなかで、行政施策にも関心をもって学習していく場が必要であり、学習会や意見を吸い上げる場を積極的に設定してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 同じ障害のある当事者どうしのピアカウンセリングの充実を重点的に取り組む事項のひとつとして掲げており、事業者や当事者団体等とも連携して、行政施策についての学習や意見をお聞きする取り組みなども推進していきます。 |
| | ③情報発信の充実 | <ul style="list-style-type: none"> 情報提供としてホームページの活用が考えられているが、知的障害者には窓口の対応が必要であり、団塊世代の職員が退職することもふまえて福祉事務所の職員のスキルアップを図り、正確かつ的確に対応できるようにしてほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 福祉事務所の相談支援機能の強化を図るよう、職員のスキルアップも含めて推進していきます。 |
| 25 | ①ライフステージを通じた発達支援をすすめるためのネットワークの構築 | <ul style="list-style-type: none"> 発達支援プロジェクトチームをつくって今まで支援が受けにくかった子どもへの支援に積極的に取り組むとしており、私立幼稚園との連携にも積極的に取り組んでほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> 発達障害についての市民の理解を深めつつ、保健、福祉、保育、教育に関わる機関等の連携による支援をすすめていきます。そのなかで、私立幼稚園との連携について、ニーズ等をふまえながら対応していきます。 |

| 頁 | 項 目 | パブリックコメントにおけるご意見のあらまし | ご意見に対する市の考え方 |
|----|----------------------|--|---|
| 26 | ②発達障害に関する総合的な相談機能の充実 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害者施設では発達障害者への支援が課題になっており、日中活動や就労支援の場を設置していく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・発達障害者に対しては制度的な支援が十分なされてこなかったことが課題となっていることから、生活支援を推進するよう、地域自立支援協議会にプロジェクトチームを設置するなどして、事業者や行政等が協働して取り組んでいきます。あわせて、支援の制度化をすすめるよう、国・府への要望も行っていきます。 |
| 28 | ①福祉的就労や日中活動の場の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉的就労プロジェクトチームを立ち上げ重度障害者への支援を考えるとしているが、市立施設のすばる・北斗福祉作業所にセンター的役割として具体的にどんな役割をもたせるかは明記されておらず、今後の課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・福祉的就労に関するプロジェクトチームなどを通じて事業者や関係機関等の連携による取り組みをすすめていくなかで、市立施設として担うべき公的な役割を明確にしていくよう検討していきます。 |
| 全般 | | <ul style="list-style-type: none"> ・「障害者」は「障がい者」、「障害」は「障がい」と表記した方が、障がい者にとって親しみが湧くと思うので、検討してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をふまえ、当事者の方々のご意見もお聞きしながら、今後、検討していきます。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・通所施設の利用料を1割負担にしないでほしい。 ・障害年金も生活保護も受けられず困っている。作業所の工賃も少なくなってきて生活が厳しい。 ・通所施設を利用するようになり、病気があってもやっていたらいいと思いき、よい毎日を過ごせるようになった。これからも利用したい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ご意見をふまえ、一人ひとりのニーズをふまえた支援をすすめていくよう、計画を推進していきます。 ・また、利用料の負担が必要なサービス利用を妨げることがないよう、負担軽減のための措置を適切に活用するとともに、国・府にも要望していきます。 |
| | | <ul style="list-style-type: none"> ・この計画が今後3年間にきちんと実行されることを望む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・「寝屋川市障害者長期計画推進委員会」で計画に基づく事業の推進方法の検討や進捗状況の点検・評価を行うとともに、一体的な運営を図るため、地域自立支援協議会の全体会、部会、ワーキング、プロジェクトチーム等を通じて、市民、関係団体、事業者等との役割分担と協働のもとで推進していきます。 |